

社協の輪

2025
4-5
No.219




▲児童クラブ加茂(学童保育)

LINE UP

- 令和7年度 事業計画・予算
- 職員体制
- 「ふくし」の人リレーコラム
- セルフヘルプつながり交流事業
- 地域福祉フォーラム2025



洲本市社協
キャラクター
「みっくまん」

 この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

市内各種団体代表などから構成する理事会及び評議員会にて、令和7年度の事業計画と予算が承認されました。

1. 地域福祉の「人づくり」

(1)意識作り

- ①PR事業
- ②社協会長表彰事業の推進
- ③当事者理解の推進
- ④福祉学習・世代間交流の推進

(2)担い手づくり

- ①小地域福祉活動の推進
- ②各種養成講座・研修会・交流会の推進
- ③ボランティア及びボランティアグループへの支援
- ④五色支部福祉推進委員会の推進

2. 人と人との「つながりづくり」

(1)住民同士の交流の場づくり

- ①地域拠点型サービスの開発・実施

(2)当事者同士の分かち合いの場づくり

- ①当事者支援の推進
- ②子育て支援の推進

3. 連携・協働の「ネットワークづくり」

(1)住民間のネットワークづくり

- ①小地域福祉ネットワークの推進
- ②災害時要援護者支援ネットワークの推進

(2)専門職間のネットワークづくり

- ①各種連絡会への参画
- ②社会福祉法人連絡協議会との連携・協働
- ③全世代型の横断的なネットワークづくり

4. 総合的な相談支援の「仕組みづくり」

(1)総合的な福祉相談体制づくり

- ①心配ごと相談、ボランティア相談、介護相談、障がいに関する相談、権利擁護相談、不登校・ひきこもりに関する相談等の推進

(3)地域包括ケアシステムづくり

- ①地域包括支援センターや生活支援コーディネーター、民生委員児童委員、地域団体等との連携促進

(2)権利擁護支援体制づくり

- ①権利擁護デスク（法人後見等）の推進
- ②日常生活自立支援事業の推進

(4)生活困窮にある方への支援体制づくり

- ①市福祉課との連携促進
- ②生活福祉資金貸付事業の推進
- ③フードドライブ運動の推進

社会福祉協議会の体制強化

(1)社協事業の見える化

- ①情報発信の強化

(2)経営基盤の強化

- ①理事会、評議員会、監事機能の強化
- ②財源の確保
- ③事業推進体制の強化
- ④介護保険事業等の実施

(3)ニーズに応じたサービスの実施・見直し・開発

- ①地域活動支援貸出事業、福祉車両貸出事業、在宅高齢者支援事業、配食サービス事業、会館管理事業等
- ②制度対象外の問題等ニーズに応じたサービスの開発・実施

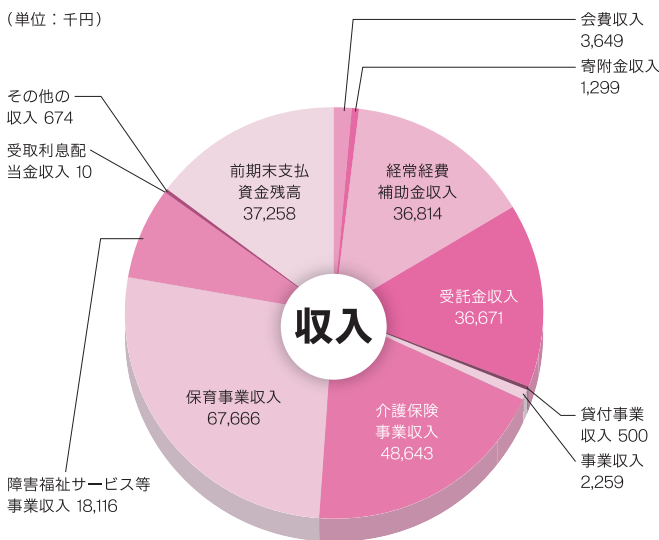
(4)住民主体の社協づくり

- ①地域福祉推進計画の点検・評価・見直し
- ②地域福祉計画との連携強化
- ③災害支援体制の強化

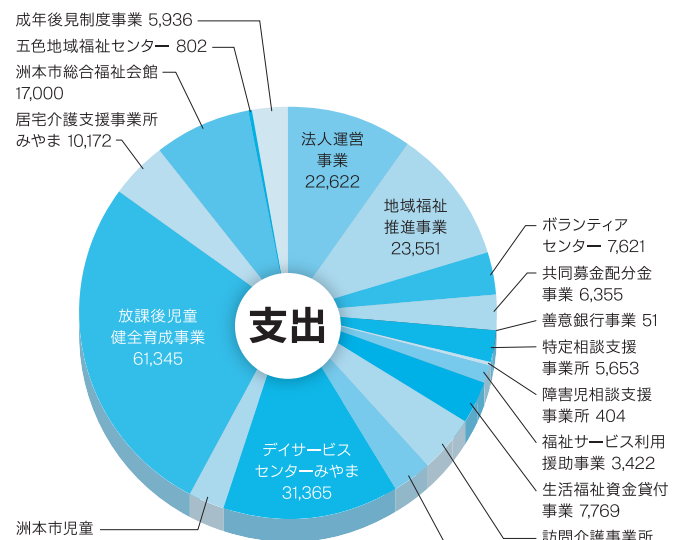
(5)職員間の連携

- ①組織内での連携
- ②組織外との連携

(単位：千円)



収入 253,559千円



支出 227,097千円

令和7年度 洲本市社会福祉協議会 新事務局体制がスタート!

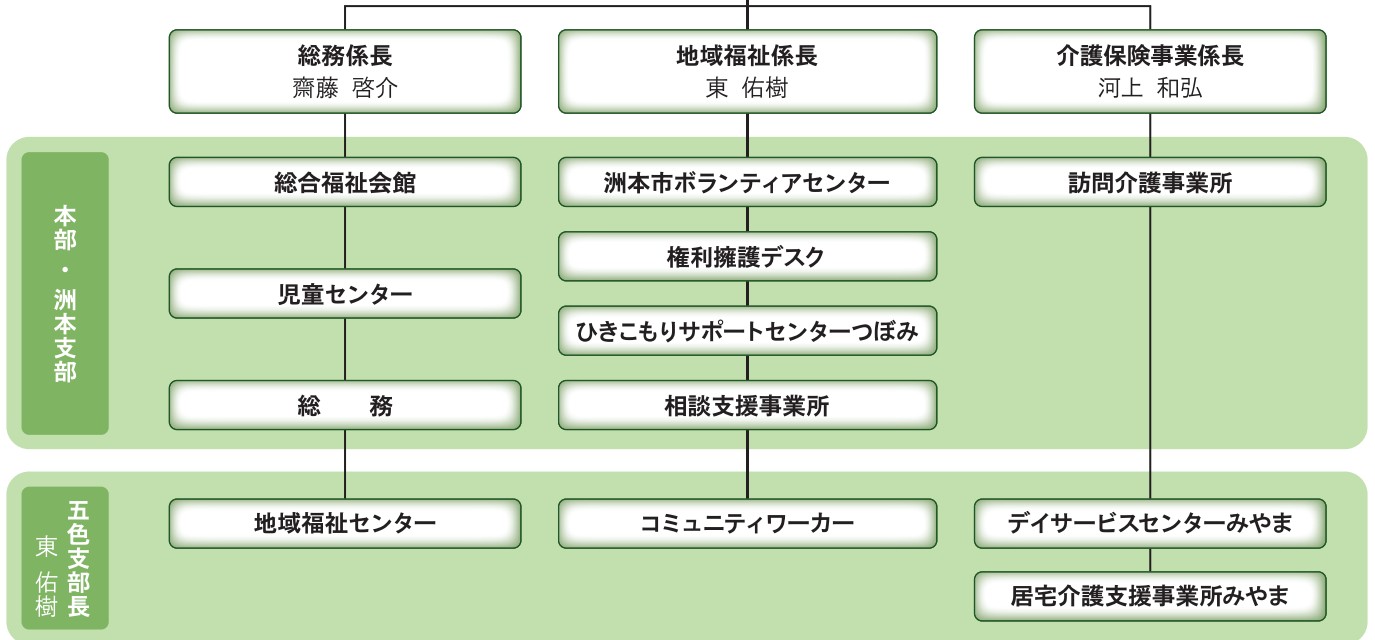
人事異動に伴い、新たな事務局体制がスタートしました。総勢67名の社協職員が、地域の皆さまと共に地域福祉を推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

洲本市社会福祉協議会 事務局体制

会長 廣地 タマヘ
副会長 小川 輝夫、赤松 正視

事務局長 城田 知志

正 規：13名
嘱 託：27名
パ ー ト：27名
計：67名
(令和7年4月1日現在)



「ふくし」の人
リレーコラム ⑫

私にとって福祉の仕事は昔から身近な存在でした。子どもだった頃、母が祖父の介護をしていたのを見ており、その後もホームヘルパーなど福祉の仕事をしてきたこともあって、福祉の仕事は特別なものではなく、数ある仕事のうちのひとつといった認識でした。そんな私が福祉の仕事をやろうと思ったのは高校生の時に見たドラマの影響でした。ドラマに感動して「自分もこんなふうになりたい!」と進学先も福祉学部を選び、学生時代には学童保育のボランティアにも参加していました。地元である淡路島に帰ってきてからは障害者施設で働き始め、現在は特別養護老人ホームで介護の仕事をしています。実際に福祉の仕事を作り始めて感じたのは「思ってたんと違う!」というものでした。しんどい思いもたくさんしてきました。元々はドラマに影響されて選んだ進路であり、明確な目標や志があって選んだ仕事ではありません。では何故10年以上も福祉の仕事をしているのか?それは人

市内の社会福祉法人で活躍している「ふくし」の人をリレー方式で紹介していきます。

共催：ほっとかへんネット洲本
(洲本市社会福祉法人連絡協議会)

の笑顔が見られる仕事だからだと思っています。自分に向けられる笑顔を見るたびに頑張ろうと元気をいただけるんです。もちろん、嫌な事やきついと感じることもありますし、仕事自体をしんどいと感じることもあります。しかしそれは他の仕事をしていても感じることでしょ。あえて福祉の仕事を選んでいるのは自分にとってはそれだけ利用者様や家族様の笑顔に価値を感じているのかなと思っています。人から「ありがとう」「助かるわ」と感謝の言葉と笑顔を向けられる。人と密接に関わる仕事だからこそ得られるやりがいのある仕事、それが福祉の仕事だと思います。これから色々な笑顔を増やしていけるように福祉の仕事に関わっていきたいと思っています。



社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷
岡本 洸一

地域福祉フォーラム2025

福祉のつどい&ボランティアのつどい開催

3月22日(土)、地域福祉フォーラム・福祉のつどい & ボランティアのつどいを開催しました。

始めに、五色地区ボランティア連絡会会長からの感謝状贈呈式が行われ、次に講演が行われました。講演では、オフィス園崎の園崎代表に『防災減災に向けて地域で取り組めること～能登半島地震の実際を踏まえて～』をテーマにお話をいただきました。



「セルフヘルプつながり交流事業」

3月7日(金)、セルフヘルプつながり交流事業を開催しました。当日は、セルフヘルプグループの当事者や家族の方など28名の参加があり、淡路市内の散策を行いました。

参加者から「交流事業の時にだけ会える人がいる。年に1回、お互いの事を話し合える大切な時間です」という声を聞くことができ、話の絶えない時間になりました。



総合相談

- 心配ごと（何でも相談）、ボランティア、介護、権利擁護（成年後見）、障がい、不登校・ひきこもり相談
（常設）月～金曜日 9時～17時

ひきこもりサポートセンター つぼみ

- 居場所「わかくさカフェ」
毎週金曜日 10時～15時@やまて会館
- 家族の会「ハチドリの会」
毎月第3金曜日 10時～11時半@やまて会館
- 家族の会「ヤング親の会」
毎月第3火曜日 16時半～17時半@やまて会館

認知症を支える

- オレンジカフェ「やすらぎ学園」
毎月第1・3金曜日 10時～15時@やまて会館
- オレンジカフェ「おれんじランプごしき」
毎月第3金曜日 10時～12時@旧たかたクリニック
- 家族の会「ごしきの会」
毎月第2火曜日 13時半～15時半@みやまホール

まちの子育てひろば

- まちの子育てひろば
毎月第2火曜日
10時～11時半@やまて会館
- プレママ&ベビーくらぶ
毎月第3火曜日 10時～11時半@やまて会館



Instagram

申込・問い合わせ先 洲本市社会福祉協議会（代表）☎26-0022 洲本市社協 検索

寄付のお礼（R7.2.1～R7.3.31・順不同）

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 【寄付】 宣徳寺・浄光寺 様……………10,000円 | 田中 益也 様・千鶴子 様……100,000円 |
| 昭和40年度 五色丘中学校卒業生 ……30,262円 | |
| 【善意銀行】 ●地域福祉のために | ●老人福祉のために |
| 山里 幸平 様……………10,000円 | このゆびとーまれ淡路 様……5,400円 |
| ●障害者福祉のために | ●子育て支援のために |
| 小嶋 朝子 様……………2,000円 | 表原 美知代 様……………2,000円 |
| 匿名 ……………12,300円 | |

編集・発行／社会福祉法人 洲本市社会福祉協議会

本部・洲本支部 〒656-0024 洲本市山手二丁目2-26 TEL.0799-26-0022 FAX.0799-26-0021
五色支部 〒656-1334 洲本市五色町広石中90-5 TEL.0799-35-1166 FAX.0799-35-1167